
闘争委員長の決意

四国労働金庫労働組合
闘争委員長 土居 純二

本日の要求書提出を皮切りに、2014 春季生活闘争が本格的にスタートします。これまで労使で積み上げてきた議論を交渉の中で発展的に沸騰させ、こだわりを持った要求を全て勝ち取るべく、全労金の旗の下に集う全ての単組・全ての組合員が団結の拳を突き上げようではありませんか。

私達の要求は決して自分たちだけの労働条件を改善するためだけのものではありません。要求を掲げそれを実現していく事が、社会をより豊かに変えていく大きな「うねり」になるはずだと信じています。安心して、誇りをもって、働きがいを感じながら働く事のできる労働金庫をつくり上げるにより、労働者自主福祉運動がさらに発展していくという、好循環をつくり上げるためにこの春闘を闘い抜かなければなりません。

「勝利の波動は四国労組から！」これを合言葉に私達は全力で闘います。全国の皆さん、共にがんばりましょう！